

懐かしい先生方からの 短信とメッセージ



同窓会報「阜城」第20号同封の葉書、またはメールにて、ご近況や卒業生へのメッセージをお寄せくださいました。お顔が目に浮かび、お声が聞こえてきそうです！

松村直行先生
松田雅彦先生
末広享先生

石田晶大先生
増田ゆか先生
藤井宏明先生

樋口正美先生
平田豊誠先生

松村 直行 先生

音楽科 教諭
学校長
皐城会顧問

昭和36年4月1日～昭和46年3月31日
平成元年4月1日～平成5年3月31日（通算14年間）

懐かしい附属教官時代！自宅が近いので毎日のように附属小、中、高生を見かけ、もう60年以上も昔のことを思い出しており、色々な教え子が訪ねてくれ、大変幸せに過ごしております
みなさまもお元気で！

松村 直行

懐かしい附属教官時代！
自宅が近いので毎日のように
附属小中高生の姿を見かけ、
もう60年以上も昔のことを思い出
しており、色々な教え子が訪ねて
大変幸せに過ごしております
皆様もお元気で！

石田 晶大 先生 ①

美術科 教諭

昭和48年4月1日～平成4年3月31日

平成8年4月1日～平成15年3月31日

副校長 平成15年4月1日～平成22年3月31日（通算33年間）

臯城会顧問

臯城会会員の皆様

美術を担当しておりました石田晶大です。附中には昭和48年4月に着任し平成22年3月末まで33年の長きにわたりお世話になりました。その間に関わった生徒さんは25期生から62期生まで数にして6000人近くになります。附属中学校を定年退職し、早いもので今年で11年になります。今年が6回目の年男です。同期には体育科の樋口、数学科の末広、英語科の山田先生がおられました。

退職後は、皆さんもご存じの水月公園隣接の畑で野菜や果樹を育てながら、箕面市にある大阪青山大学で造形教育に携わったり、池田市の図書館協議会や公民館の運営協議会の委員、地元寺社の檀家・氏子総代を務めながら、毎日充実した日々を送っております。

今回の総会2部を担当される皆様方には大変お世話様です。「10の期の会」の皆様方は10年ごとの創立記念式典や行事と深く関わられたと思います。30期生が2年生の時には創立30周年の催しがあり、中庭が整備されて今でも附中生の憩いの場になっていると思います。40期生の時には櫻坂横に岩石の教材園、創立50周年の折には新宮晋さん(5期生)の風の彫刻「帆走する雲」が臯城会より寄付されました。現在も続いている「先輩の授業を受けよう」はこの時に始まったものです。

石田 晶大 先生 ②

それでは、30期生の皆さんにご挨拶と思い出を。

皆さんとお出会ったのは私が26歳の時、45年も前ですね。教職に就いて3年目でした。当時のことで強く印象に残っているのは多彩な行事の多さです。宿泊行事は1年生の鳥取県の大山林間学舎(2泊)、2年生は和歌山県の白浜臨海学舎(2泊)、3年生では5泊6日の九州修学旅行(今は亡き鈴木先生の発案で往復夜行寝台列車でした)、先日私物を整理していたら当時美術部で手刷りしたシルクスクリーンの栞が出てきました(添付します)。又、3年の夏休みには箕面の勝尾寺で2泊3日のサマーセミナー(学習会)が実施され、3年間で実に11泊の宿泊行事。体育的行事では、春と秋の校内大会、9月の水泳大会、10月の体育大会があり、自己の記録更新と仲間との絆を深めましたね。そうそう、2月には耐寒登山で五月山から勝尾寺まで縦走しました。忘れられないのは文化祭です。当時の附中は文化部と運動部の二部制を引いており、とりわけ文化部の活動は今の大学でも通用するような高度なものでした。文化部は学習指導要領に縛られない高次の学力を育成するとして、教科の延長線上に位置づけられていました。国語科は「文芸書道部、演劇部」、社会科は郷土研究部「地理民族班と歴史公害班」数学科「調査統計部」、理科と技術科は自然科学部として「物理化学班、生物班、天文班、地学班、電気班」があり、音楽科は「合唱、吹奏楽、ギター班」、美術科は「美術部」、家庭科は「手芸部」、英語科は「ESC」として活動。ちなみに私が担当した美術部では油絵を必修として一年生で10号(530×455ミリ)、2年生20号(727×606)、3年生では30号(910×727)を描かせ文化祭で展示発表していました。文化祭前には徹夜してでも研究追及し発表に臨んだ人が多かったです。附中生の能力と意欲の高さに驚かされたものです。2泊3日の宿泊巡検を実施する部も多く、鈴木先生などは山口県の秋芳洞や北海道まで地質調査に生徒を連れて行っていました。

石田 晶大 先生 ③

次に40期生の皆さんへ。

一年間だけでしたが1年D組を担当しました。あなた方が2年生の時に創立40周年の記念行事があり記念冊子も数冊発刊されました。その一つ「わが校40年のあゆみ」の編集委員になり、第三章「創立40年目の私たち」を担当しました。美術の時間に「2001年の私」として、将来の自画像を描き、抱負とともに画面構成をしました。皆さん、このような記念誌があったことを覚えていますか。ちなみに、今回オンライン鼎談に登場する3人は次のように書いています。東尚弘君は「ぼくは将来医者になりたいと思っているが手術などはこわいので外科にはなりたくない」、勝間田智之君「コンピューターの会社に入って、プログラミングを毎日する楽しい生活を送りたいなあ」、関根友美さんは「歴史の先生とかスチュワーデスかな」。皆さん、どのような道を歩んでいますか？

最後に50期生の皆さん。

2年、3年生の時に学年担任をしました。最も印象に残っているのは、この学年から「国際枠生徒の募集」が始まったということです。国際化時代に対応するために海外からの帰国子女や外国籍生徒など多様な生徒を受け入れ、切磋琢磨、相互啓発させながら、国際社会で活躍する人材を育てようとする取り組みでした。附中の国際化元年といわれましたね。卒業後、皆さんはどのような道を歩んでおられますか。今は、36, 37歳ぐらいですか。社会人としてバリバリ活躍しておいでになるのでしょうか。

コロナ禍が終息しませんので、直接お目にかかって当時のお礼を述べたり、近況もお聞きし交流できないのが残念ですが、皆さんご健勝でご活躍されますようにお祈りいたします。又、お目にかかりましょうね。

石田先生メッセージ添付画像



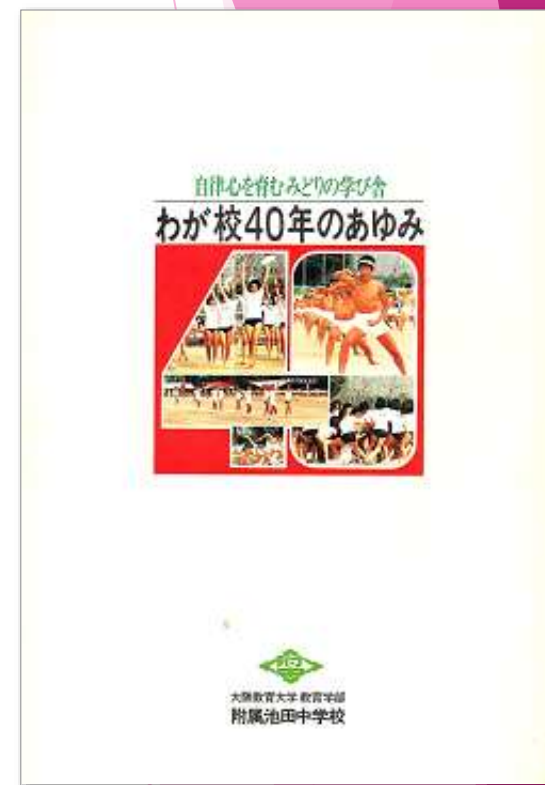
30期: 1年生 林間学舎



32期: 2年生 臨海学舎



33期: 3年生 修学旅行



40期: 40周年記念誌

樋口 正美 先生

保健体育科 教諭 昭和49年4月1日～平成3年3月31日（16年間）

附中での13年間の思い出は、私にとっては今も忘れることができません。

今は毎日地域の為に体を動かしています。自治会長は12年目に入ります。去年は県より自治功労賞をいただきました。

樋口 正美

附中での13年間の思い出は、私にとっては今も忘れることができません。

今は毎日地域の為に体を動かしています。

自治会長12年目に入ります。去年は県より自治功労賞をいただきました。

松田 雅彦 先生

保健体育科 教諭 平成3年4月1日～平成8年3月31日(5年間)

大教大平野校舎で元気にやっております。あと2年で定年という年になりました。みなさんもコロナに負けず元気におすごしください。

松田 雅彦

大教大平野校舎で元気に
やっております。あと
2年で定年という年にな
りました。みなさん
もコロナに負けず
元気におすごしください。

増田 ゆか 先生

国語科 教諭 平成12年4月1日～平成23年3月31日(11年間)

60期のみなさんへ

1年は担任、3年で進路を担当した増田です。お久しぶりです。

元気でご活躍されていることと思います。私は公立に戻って学校を退職した後、今は杉山先生と一緒に大学で先生をめざす学生を少しですが指導しています。

私がみなさんと出会ったのは附属中勤務6年めで、国語の授業以外にも教育実習や国際、情報など、いろいろな仕事を担当していた頃でした。あなたたちが2年生の時に大学院に行き休職したので実質は2年間のお付き合いでしたが、他の学校にはない総合学習の基礎技能講座や、応援合戦がすごかった体育大会でのみなさんの姿が思い出されます。

国語の授業では今では教科書にも少しずつ入るようになった、写真や映像を含むマルチモーダルな言語リテラシーのための実験授業をたくさんさせてもらい、みなさんをさぞかし振り回していたことと思います。ごめんなさい！今でもみなさんが作ってくれたプロモーションビデオやラジオドラマなどの作品を大切にしていますよ。

今年は東日本大震災から10年めの節目の年です。コロナや豪雨、豪雪による災害で困難ばかりの今こそ、附中で学んだみなさんの叡智に期待しています。どうか新しい未来を作り出すコペルニクスになってください。みなさまのご活躍とご多幸を祈っております。

平田 豊誠 先生

理科 教諭 平成13年4月1日～平成24年3月31日(11年間)

60期生の皆様 お元気でお過ごしでしょうか、人生最良の選択ができていますか？直接お会いしてたくさんお話をききたかったのですが残念です。

10年後にまた会いましょう！

(来年でももちろんOKです)

平田 豊誠

60期生の皆様 お元気でお過ごし
でしょうか、人生最良の選択ができて
いますか？直接お会いしてたくさん
お話をききたかったのですが残念です。
10年後にまた会いましょう！
(来年でももちろんOKです)

末広 亨 先生

理科 教諭

平成18年4月1日～平成20年3月31日(2年間)

家事を仕事とする毎日です。0才～15才の子供たちに関わる早朝保育士
とまなび舎教室アドバイザーの仕事は少しだけですが続けています。
みなさまの御活躍を楽しみに、いつも応援しています。

末広 亨

家事を仕事とする毎日です。0才～15才の子どもたちに関わる早朝保育士とまなび舎教室アドバイザーの仕事は少しだけですが続けています。みなさまの御活躍を楽しみに、いつも応援しています。

藤井 宏明 先生

理科 教諭 平成20年4月1日～平成27年3月31日
平成28年4月1日～令和3年3月31日（通算12年間）

卒業生のみなさんへ

私が、附中に赴任してから、途中1年いなかった年を除いて、12年の年月が流れました。

十年一昔といいますが、当時と今とでは学校も大きく様変わりをしました。私が赴任してきた頃は、公立の学校も、附属中学校もICT機器の導入はまだままだでした。赴任して2年目には日本でiPhoneが発売となり、やがてiPadの発売へと続き、スマートフォンやタブレットが徐々に普及していきました。その間の附中では66期生が在学2年目の時に電子黒板の導入が行われました。70期生のみなさんの頃には各教室に電子黒板のモニターが整備されていたのではないのでしょうか。近年の変化としては、教育後援会のご協力もあり、政府のGIGA school構想に先んじて校内にWi-Fiが整備され、一人一台コンピューターが利用できるようになりました。

世の中や学校はこのように大きな変化を遂げてきましたが、一方で対照的に変わらぬものもあります。それは打てば響く、高い伸びしろをもつ附中生の可能性です。附中に在籍中、61期生から70期生までとぎれず、どこかの学年で授業にかかわりましたが、どの学年でも授業や行事においてたのもしい姿を見せてくれました。このため、附中生と授業で時間を過ごすのは私にとってとても楽しい時間でした。

10年後、世の中はさらに大きく変わっているでしょう。激変する世の中にあっても、附属池田の卒業生のみなさんは、60期生以前の大先輩と同様に時代にあわせて、きっとその力をいかに発揮してご活躍されていると思います。今年3月をもって、附属池田中学校を離れることになりましたが、共に時間を過ごしたみなさんが活躍している姿をどこかで見られたら嬉しいなと思います。そして、みなさんの母校である附属池田中学校も時代とともに変化しながら、今後も社会的責務が果たせる学校として発展していくことを願っています。